

令和7年度 地域連携推進会議 議事録（すだちの丘 重点報告）

1. 会議概要

社会福祉法人ダブルエッチジェーでは、運営の透明性を高め、地域社会との絆をより強固なものにすることを目的として、定期的に地域連携推進会議を開催しております。本報告は、令和7年度の運営実態（令和8年2月時点の年度末総括）について、外部委員の皆様からの評価と助言を記録したものです。

- **開催日時：** 令和8年2月25日（水） 10:00～
- **開催場所：** やまぼうしの郷 ティガ棟リビング

2. 出席者一覧

本会議には、地域の代表者、専門家、および法人職員計12名が出席いたしました。

【外部委員：地域・利用者代表・専門家】

- **地域代表**
 - 岩橋 良直 様（板山地区 区長）
- **利用者・ご家族代表**
 - 松下 和樹 様（やまぼうしの郷 利用者様代表）

- 鈴木 清江 様（すだちの丘 利用者様代表）
- 三木 英里子 様（やまぼうしの郷 御家族代表）
- 北野 恵 様（すだちの丘 御家族代表）
- 外部専門家（医療・介護）
 - 小菅 光代 様（株式会社 maman 訪問介護管理者）
 - 平松 孝一 様（一般社団法人バンデ綴 サービス管理責任者）
 - 棚辺 様（一般社団法人バンデ綴）
 - 大坪 拓実 （ふれあい支援センター 管理者）

【法人職員】

- 天木 萌（やまぼうしの郷・すだちの丘 管理者）
- 岡野 豊（やまぼうしの郷 サービス管理責任者）
- 小八重 拓二（すだちの丘 サービス管理責任者）

3. 法人理念と運営方針の確認

当法人の支援の根幹を成す理念を改めて共有し、地域共生の重要性を確認いたしました。

- **法人理念：**「すべての障害者が人として、人間らしく生きていくために」 一
- **経営理念：**「共にいき、共に【つくる】」 利用者様、ご家族、そして地域住

4. 事業所概況：すだちの丘

「すだちの丘」は、少人数制の利点を活かした、家庭的で温かみのある生活環境づくりを徹底しています。

- **環境特性：** 利用者様の生活規模に合わせた、小規模で家族のような安らぎを感じられる住環境を提供しています。

5. 支援の実際と生活リズム

標準的な1日の流れ

- 06:00～06:30：起床
- 06:30～：朝食 身支度 出発準備等
- 08:30～09:00：日中事業所へ出発
- 16:00：帰宅 • 17:30～：入浴・夕食・余暇
- 20:00～22:00：就寝

地域共生と安全の取り組み

- **地域交流（地域共生）：** 地元の伝統である「板山地区盆踊り」への参加など、地域の皆様との対面での交流を通じて、社会の一員としての繋がりを深めています。
- **安全確保：** 定期的な避難訓練を実施し、有事の際にも利用者様の命を確実に守る体制を構築しています。

6. 運営状況報告：安全管理（ヒヤリハット事例）

当法人では、**「事故を隠さず、小さな兆候（ヒヤリハット）を可視化することこそが健全な運営の証である」**という方針のもと、詳細な事例分析を行っています。

「すだちの丘」固有の事例と対策

- **事例 1：調理場での不適切な飲食**
 - **内容：** 久田様による調理場でのつまみ食い（ポテト等）が発生。
 - **対策：** 職員の死角をなくすよう、キッチン周辺の職員配置および見守り体制を再編いたしました。
- **事例 2：医療備品の破損**
 - **内容：** 高須様による CPAP（持続陽圧呼吸療法）ホースの接続部破損が発生。

- 。 **対策：** 備品管理の徹底および取り扱い手順の再確認を行い、安全な使用環境を再構築いたしました。

7. 運営状況報告：事業費および費用設定

財務の透明性を確保するため、「すだちの丘」の運営経費および利用者負担金について報告いたします。

【会計報告（4月～1月累計）】

- ・ **事業費総計：2,784,397 円** ※給食費、水道光熱費、日用品費等、利用者様の生活の質を支えるための直接経費として適正に執行されています。

【利用者様実費負担金（単価設定）】

- ・ 食材料費（1 カ月）：15,000 円
- ・ 水光熱費（1 カ月）：12,000 円
- ・ 日用品費（1 カ月）：5,000 円
- ・ **土日昼給食費（すだちの丘固有設定）：1 回 300 円** （※当法人の標準価格である 1 回 700 円に対し、すだちの丘では独自の負担軽減設定を導入しています）

8. 地域連携および情報発信

地域社会の信頼に応えるパートナーとして、以下の通り情報発信を強化しています。

- **意見交換：** 地域行事への積極参加や、ボランティア協力体制の構築、住民の皆様からの忌憚のないご意見を反映させる仕組みづくりについて議論を深めました。
- **支援内容のリアルタイムな可視化：** 施設での日常や利用者様の表情を地域に届けるため、SNS を活用した透明性の高い情報発信を行っています。
 - すだちの丘 専用 Instagram：[@WHJSUDATI](#)

以上